

仙台圏の「いま」を伝える

せんだいなう!

みらいん ゆうかん

5月号

「みらいん」は、仙台市内で津波被害に遭われた被災者の方などに向け発行している地域かわら版です(みやぎの版、わかばやし版、たいはく版)。「みらいん ゆうかん」では、みらいん編集部が被災地の現状について取材した話題や情報を、月1回お伝えします。

URL <http://www.sendai-mirain.com/>

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

出前講座を開催します

東北財務局では、振り込め詐欺などの金融犯罪被害に巻き込まれない日頃の心がけを説明する出前講座を行っています。仮設住宅集会所や市民センターなどに伺いますので、ご希望の方はお問い合わせください。

【対象】どなたでもご利用できます
【問い合わせ】東北財務局 金融監督第3課 仙台市青葉区本町3の3の1 仙台合同庁舎4階 022(266)5703(直通)、022(263)1111(内線3080)

被災者のコミュニティー支援の助成制度を創設

仙台市は東日本大震災被災者のコミュニティー形成に向けた事業に対し助成を行います。

【対象事業】コミュニティー形成・活性化に資する祭りやイベント、自主的な勉強会、講演会・生きがいづくり支援など

【対象団体】応急仮設住宅などにお住まいの方が属している町内会や東日本大震災の被災者が中心となって構成された団体など

【助成金額】1事業あたり10万円限度 ※一部助成対象外経費あり

【助成期間】2012年4月～13年3月

【応募窓口・問い合わせ】宮城野区まちづくり推進課022(291)2111(内線6137)、若林区まちづくり推進課022(282)1111(内線6137)、太白区まちづくり推進課022(247)1111(内線6138)

仮設住宅出前講座

高砂市民センターが、宮城野区内の仮設住宅でさまざまな講座を開いています。

【対象】対象の仮設住宅にお住まいの方

【内容】からだのゆがみをなおしましょう(ヨガ教室)▷5月15日(火)午前10時～、岡田西町公園▷5月24日(木)午前10時～、仙海港背後地6号公園 押し花でオリジナルカード作成▷6月2日(土)午後1時～、仙海港背後地6号公園 ひさしふりにごいっしょしましよ▷5月17日(木)午後1時～、高砂1丁目公園▷6月7日(木)午後1時～、福田町南1丁目公園

【問い合わせ】同センター022(258)1010

紙面のご意見やご感想をお寄せください。
みらいん編集部
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12
協同組合みやぎマルチメディア・マジック内
022(390)5755 kawara@mwww.or.jp

みなし仮設の被災者支援 孤立を防ぐ環境築く



太白区で行われた「交流サロン」。この日は親子で遊んでいる方が対象でした。託児ボランティアが入っているため、参加したパパとママはゆっくりお話をできました。

被災した方が最も多く住んでいるのは、民間賃貸の借り上げ住宅(みなし仮設)です。仙台市によると、市内には4月末現在、プレハブ仮設が約1500戸、みなし仮設が約8600戸あると推定されています。みなし仮設へは、支援の手がなかなか届きません。支援団体は「個人情報保護」によって被災者の居場所が把握できず、被災者は慣れない土地に引っ越したため支援情報が入りづらい、という理由が、スムーズな支援を阻んでいます。

4月のある日、市内の市民センターであった巡回相談に足を運びました。初めて巡回相談を訪れたという女性グループや、相談の日に合わせているという男性が、相談員とテーブルを囲んでいました。浦生地区にお住まいだった片桐勝一さんも、この日も盛んでした。ことし2月から3月にかけて、すでに37回催されました。

被災者同士が情報交換や悩みを共有する交流サロンも盛んでした。ことし2月から3月にかけて、すでに37回催されました。福島県から避難している富沢美佐江さんと佐々木美智子さんは、交流サロンの出会いがきっかけで友達になりました。「同じ経験をした人じゃないと理解してもらえないことが多い。そんな中で同郷の友達が増えてよかった」と富沢さん。佐々木さんも「富沢さんと通い回らなければ会ってない。地元の話や子育ての話ができてとても心強い」と話します。市内にはみなし仮設に住む方がたくさんいらっしゃいます。その方をぜひ温かく迎えてほしい。今後はみなし仮設と地域の方が自然につながりを持つ環境づくりを手助けしたい、と話していました。中核支援あいセンター022(217)7234。



交流サロンがきっかけで友達になった佐々木さん(左)と富沢さん。「今後は互いの友達の輪を広げていきたいですね」

今月の1枚

荒浜・二郷堀沿いに咲く桜

がれきを処理する重機の武骨な音が響く若林区荒浜地区。かつて二郷堀沿いの揚水場近辺に植えられていた桜の木は、根ごと津波にさらわれ横倒しになったままです。それでも春が来ると、毎年咲かせていたピンクの花びらをつけて、私たちに自然のたくましさ、生命力の強さを教えてくれます。



4月

みらいん編集部
ダイアリー

13日 若林区荒浜のシンジミ貝殻にちりめん布を貼り付けて作られた「福幸かえり」の制作現場にお邪魔しました。元荒浜住民の方々が和気あいあいとしたカエルたちは、5月19、20日の仙台・青葉まつりで販売される予定です。

8日 若林区七郷中央公園仮設住宅にやってきたのは、山形・前森高原の2頭の馬。御歳80歳のさっちゃんや乗馬に挑戦! 悠然と馬にまたがる姿に胸が熱くなりました。

10日 宮城野区新浜の照徳寺を訪問。境内の地藏堂は流され、田んぼで見つかったお地藏さんは京都で修復中とのことです。縁日の日3月24日には必ず雨が降ることから「濡(ぬ)れ地藏さん」と呼ばれているそうで、ことは5月14日がその日に当たります。

11日 層間の若林区O仮設住宅集会所は主婦が憩う井戸端会議場。今日の議題は「一昨年のお米をおいしく炊くコツは?」。誰も試したことがない中で登場したSさん。「輪切りにした大根か、砂糖小さじ1杯を一緒に入れて炊くよ」。ほほう、と一同感心したり首をひねったり。本当な旦那から、どっちもテレビで言っていたんだから。えっ、試していないんですか?